路線価 下げ幅縮小

九州新幹線効果 博多駅前は上昇

相続税や贈与税の算定基準となる2013年分の路線価＝㎡＝（1月1日時点）を1日、国税庁が公表した。全国平均の下落率は1・8％と、5年連続で前年より下がったものの、宮城、愛知は上昇に転じた。残る45都道府県でもすべて下落幅が縮小するなど、下げ止まり傾向が顕著となっている。

大震災からの復興が進む宮城の変動率は全国トップの1・7％増。全国最大の下げ幅となったのは高知の6・2％減で、徳島の5・8％減が続く。南海トラフ地震が発生した場合、大きな津波被害が出る恐れが指摘される地域だ。

九州・山口・沖縄でも下落幅は縮小。県庁所在地ごとの最も高い路線価を前年と比べると、鹿児島市は下落が止まり、熊本、長崎、大分、宮崎、佐賀各市は下げ幅が縮小。山口市の下げ幅は拡大した。那覇市では5・8％上がり、上昇率は全都道府県庁所在地で2番目だった。福岡市内で最も高い中央区天神2丁目の渡辺通りは1平方㍍あたり464万円で横ばい。北九州市の最高地点は小倉北区京町3丁目の平和通りで、前年比3・7％減の52万円だった。

一方、福岡市博多区博多駅前2丁目の駅前通りは6・5％上がり、1平方㍍あたり230万円に。全国約520税務署の各最高地点の増減率で5番目の高さだった。JR博多駅周辺の評価額は軒並み上がり、ある不動産業者は「駅ビルが新しくなり、九州新幹線も開業したことから、人気が高まっている」と話す。

路線価の評価にかかわった中村秀紀不動産鑑定士は「牽引（けんいん）しているのは、ワンルームマンション用地の取引」とみる。投資用にワンルームマンションを買う客もいる。首都圏在住者が資産のリスク分散のために、オーナーとなるケースも多いとみられている。

みずほ信託銀行は「海外投資家が関心を寄せる都市部は今後、地価上昇も見込まれる。アベノミクスが地方まで浸透しないと、都市部と地方の二極化はさらに広がるだろう」としている。

路線価

主要道路に面した1平方㍍あたりの土地の評価額（1月1日時点）。国土交通省が3月に公表する公示地価（同）の8割を目安に、売買事例や不動産鑑定士の意見なども参考に国税庁が算出する。今年は35万6千地点が対象になった。

■路線価の対前年の変動率

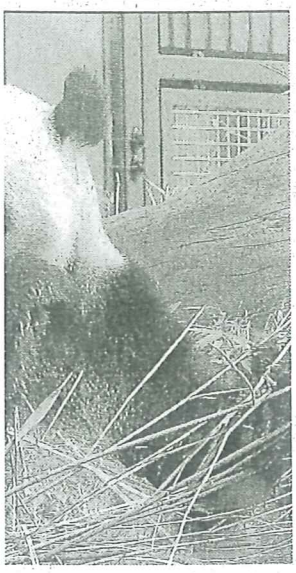
都道府県	13年	12年
北海道	▼2.3	▼3.9
青森	▼5.3	▼5.7
岩手	▼4.0	▼6.0
宮城	1.7	▼3.8
秋田	▼5.2	▼5.3
山形	▼3.3	▼4.6
福島	▼1.6	▼6.7
茨城	▼3.8	▼5.5
栃木	▼3.6	▼4.8
群馬	▼4.1	▼4.5
埼玉	▼1.3	▼2.4
千葉	▼1.1	▼2.0
東京	▼0.3	▼1.2
神奈川	▼0.2	▼1.1
新潟	▼2.6	▼2.9
富山	▼1.4	▼3.0
石川	▼3.2	▼4.2
福井	▼3.8	▼4.3
山梨	▼3.5	▼3.8
長野	▼2.9	▼3.6
岐阜	▼2.2	▼2.5
静岡	▼1.5	▼1.9
愛知	0.1	▼0.5
三重	▼2.3	▼2.5
滋賀	▼0.8	▼1.8
京都	▼1.1	▼1.5
大阪	▼0.8	▼1.7
兵庫	▼1.3	▼2.0
奈良	▼1.2	▼2.0
和歌山	▼4.4	▼5.9
鳥取	▼4.5	▼6.1
島根	▼3.4	▼4.5
岡山	▼1.8	▼2.4
広島	▼2.5	▼3.2
山口	▼4.3	▼5.1
徳島	▼5.8	▼7.6
香川	▼4.8	▼5.3
愛媛	▼2.8	▼3.3
高知	▼6.2	▼9.0
福岡	▼1.6	▼2.6
佐賀	▼4.3	▼5.3
長崎	▼3.0	▼3.9
熊本	▼1.9	▼2.9
大分	▼2.9	▼4.1
宮崎	▼1.9	▼3.0
鹿児島	▼3.1	▼4.0
沖縄	▼0.6	▼0.9
全国	▼1.8	▼2.8

（変動率は％。▼はマイナス）

3歳に母の肺移植

国内最年少、生体から

岡山大学病院は1日、関（呼吸器外科）によると、



、妊娠していない可能性
ンダ「シンシン」（メス、
と発表した。6月4日か
とどめていたが、「広い
康にいい」と判断した。
、妊娠の兆候を見せた
戻った。同園は6月25
矣が現れる「偽妊娠」だ
た。1日の会見で、同園
「元気に竹を食べてお
、あの食べっぷりを見て
難しい」と話した。

第3663回ナンバーズ（1日）

【ナンバーズ3】　790
ストレート
（数字と並び順が一致）
12万5000円　66口
ボックス
（並び問わず数字一致）
2万800円　430口
セット
ストレート
7万2900円　168口
ボックス
1万400円　885口
ミニ　下2ケタ
1万2500円　640口
【ナンバーズ4】　6550
ストレート
119万6200円　26口
ボックス
9万9600円　160口
セット
ストレート
64万7900円　63口
ボックス
4万9800円　803口

第774回ロト6（1日）

本数字　02、04、09、13、16、33
ボーナス数字　15
1等　（本数字6個）該当なし
2等　（本数字5個とボーナス数字）1329万4400円　10口
3等　（本数字5個）45万600円　354口
4等　（本数字4個）7600円　18464口
5等　（本数字3個）1000円　276663口
キャリーオーバー　1億4771万6863円

本社コンプラ委 清野智氏に委嘱

朝日新聞社は1日付で、JR東日本会長の清野智氏(65)に本社コンプライアンス委員会の社外委員を委嘱した。企業経営に通じた有識者として法令順守や社内倫理などについて審議・決定してもらう。任期は2年。

同委員会は2006年1月に設置された。委員長の木村伊量朝日新聞社長ら社内委員4人、社外委員2人で構成している。社外委員だった資生堂元会長の池田守男氏が5月に死去し、社外委員の1人が空席となっていた。

清野氏は東北大卒、19

行う。
側上告
刑判決を二審が

初めて破棄した、無職伊能（いのう）和夫被告(62)の裁判で、検察側は1日、無期懲役とした二審・東京高裁の判決を不服として最高裁に上告した。

被告は強盗殺人などの罪に問われ、2011年3月の一審・東京地裁の裁判員裁判で死刑とされた。だが高裁が6月20日、「一審は被告が妻と娘を殺害した前科を重視しすぎている」と指摘し、死刑判決を破棄した。